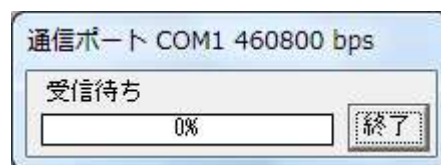


BhtYmTextA.exe 通信プログラム 取扱説明書 第8版



2016年 8月 18日
コンピュータ・アシスト株式会社



1. 機能

本プログラムは、通信プログラム「B h t Y m T e x t . d l l」を呼び出して動作するY M o d e m通信プログラムです。

動作環境

OS: W i n d o w s V i s t a (3 2 b i t) / 7 (3 2 b i t 6 4 b i t) / 8 (3 2 b i t 6 4 b i t)
/ 8 . 1 (3 2 b i t 6 4 b i t) / 1 0 (3 2 b i t 6 4 b i t)

2. コマンドライン

・書式1 (ファイル受信)

B h t Y m T e x t A - R [[通信ポート] [[通信スピード] [[連続受信] [[データ書き込み]]]]]

・書式2 (指定ファイル受信)

B h t Y m T e x t A - F [通信ポート] [通信スピード] [連続受信] [データ書き込み] [受信ファイル]
[[フィールドデータ]]

・書式3 (ファイル送信)

B h t Y m T e x t A - S [[通信ポート] [[通信スピード] [[送信ファイル] [[フィールドデータ]]]]]

・書式4 (通信条件設定)

B h t Y m T e x t A - S E T

・ 引数

通信ポート	COM 1, COM 2, COM n (省略した場合は、COM 1 になります) - S E T (通信条件設定) の場合は無効になります	
通信スピード	9600, 19200, 38400, 57600, 115200, 460800 (省略した場合は、115200 になります)	
連続受信	1	連続受信 ON
	0	1 つのファイルを受信すると終了します (省略時)
データ書き込み	1	追加 (省略時)
	0	上書き
受信ファイル	受信するファイルを指定します。指定したファイル以外のファイルはエラーになります。	
送信ファイル	送信ファイルのパス指定します。ファイル名のみ指定した場合は、デフォルトフォルダのファイルを送信します。省略した場合は、ファイル指定のダイアログを表示します。	
フィールドデータ	フィールドデータを「, 区切り」の文字列 (例 6, 1 3, 6) で指定します。 省略した場合は、拡張子「. f l d」のフィールドファイルを使用します。	

拡張子「. f l d」のフィールドファイルは、データ項目の桁数情報です。

・ フィールドファイルの書式

<項目 1 桁数>, <項目 2 桁数>, , <項目 N 桁数>

例 1) 通信ポート「COM 1」, 通信スピード 1 1 5 2 0 0 b p s でデフォルトフォルダに受信する場合

B h t Y m T e x t A または B h t Y m T e x t A - R

例 2) 通信ポート「COM 1」, 通信スピード 4 6 0 8 0 0 b p s , データ追加でデフォルトフォルダに連続受信する場合

B h t Y m T e x t A - R C O M 1 4 6 0 8 0 0 1 1

例 3) 通信ポート「COM 1」, 通信スピード 4 6 0 8 0 0 b p s , T A N A . D A T を指定して受信する場合

B h t Y m T e x t A - F C O M 1 4 6 0 8 0 0 0 0 " T A N A . D A T "



例4) ファイル名とフィールドデータを指定して受信する場合

B h t Y m T e x t A -R COM1 460800 "TANA. DAT" "6, 13, 6"

例5) 通信ポート「COM1」、通信スピード115200bps、送信ファイル指定のダイアログを開く場合

B h t Y m T e x t A -S

例6) 通信ポート「COM1」、通信スピード115200bpsでデフォルトフォルダの「AsTb30Q. PD4」ファイルを送信する場合

B h t Y m T e x t A -S COM1 115200 "AsTb30Q. PD4"

例7) ファイルとフィールドデータを指定して送信する場合

B h t Y m T e x t A -S COM1 115200 "c : ¥My Document s ¥B h t D a t a ¥TANA. DAT"
"6, 13, 6"

例8) 通信条件を設定する場合

B h t Y m T e x t A -S E T

BATファイル、ショートカット、VBスクリプト、Jスクリプトで使用できます。

3. 通信モード設定

通信状態の表示／非表示、通信履歴保存、送信／受信ファイルのデフォルトフォルダを設定するダイアログを表示します。

通信モード設定

通信状態表示
☒ 表示する ☐ 表示しない

☐ カンマ区切りデータ受信 ☐ カンマ区切り受信末尾スペースをデータとする
☐ カンマ区切りデータを引用符(“)で括る ☐ 削除フラグを付加

☒ 通信履歴を保存する
保存ファイル名 月ごとに別名で保存
保存フォルダ C:\Users\佐藤\Desktop 参照

受信デフォルトフォルダ C:\Users\佐藤\Desktop 参照
送信デフォルトフォルダ C:\Users\佐藤\Desktop 参照

キャンセル 適用 更新

通信状態の表示

CSVファイル以外のデータもカンマ区切りデータで受信します。

カンマ区切りデータ受信設定またはCSVファイル受信の場合、カンマ区切りデータを引用符(“)で括りテキストファイルを作成します。

CSVファイル送信の場合、カンマ区切りデータを引用符(“)で括りテキストファイルを送信します。

カンマ区切りデータ受信の末尾スペースをデータとして保存します。

末尾に削除フラグ1桁を付加します。

通信履歴保存設定

受信／送信デフォルトフォルダ

設定を適用します

設定を適用し保存します

保存する通信履歴ファイル名
日ごとに保存ファイル名: BYTCOM**_YYYY_MM_DD.log
月ごとに保存ファイル名: BYTCOM**_YYYY_MM.log
年ごとに保存ファイル名: BYTCOM**_YYYY.log
** : 通信ポート No

4. ハンディターミナルへのファイル送信

データファイル名： <半角1～8文字の英数字> . <拡張子（半角1～3文字の英数字）>
CSVデータファイルを送信する場合は、拡張子CSVを使用します。
PD4, PD3, EX3, FN3, FLD, EXE, BAT の拡張子は使用できません。
拡張子を省略する場合はピリオドも取ってください。

引数にフィールド情報を指定しますが、省略した場合は、フィールドファイルを使用します。

フィールドファイル名： <データファイル名と同じファイル名> . f l d

・フィールドファイルの書式

<項目1桁数>, <項目2桁数>, <項目3桁数>, . . . CRLF

TANA. DATというデータをハンディターミナルへ送信する場合、拡張子がf l dのフィールドファイルTANA. f l dを作成する必要があります。フィールドファイルは、送信するデータ項目の桁数情報です。

例) 商品コード13桁と数量4桁のデータを送信する場合

フィールドデータ引数： 13, 4

フィールドファイルデータ： 13, 4 CRLF

・固定長データ (TANA. DAT)

商品コード		数量
49017803312080001		
49017803312080010		

・CSVデータ (TANA. CSV)

商品コード		数量
"4901780331208",		"1"
"4901780331208",		"10"



5. ハンディターミナルからの受信データファイル

受信したデータは、ハンディターミナルで指定したファイル名で固定長デキストファイルまたはCSVファイルになります。CSVファイルになるのは拡張子が「. CSV」の場合です。

例) 次のようなデータの場合

処理日：10桁 棚No：6桁 JANコード：13桁 数量：6桁（符号付）

Receive 関数で受信するフィールド情報は、「10 6 13 7」になります。

① 固定長ファイル

処理日	棚No	JANコード	数量
2006/01/01	000001	4901780331208	+000001
2006/01/01	000001	4901780331208	+000001
	⋮		
2006/01/01	000001	4902011600209	+0000010

② CSVファイル（拡張子CSV）

"2002/04/01"	"000001"	"4901780331208"	"+000001"
"2002/04/01"	"000001"	"4901780331208"	"+000001"
	⋮		
"2002/04/01"	"000001"	"4902011600209"	"+000001"